



# まきは通信

第24号



## 「暮らしやすさ」を育む土壌

～みなみやま医療福祉ゾーンとふるさと日進～

日進市長 萩野 幸三

私たちの“ふるさと日進市”は、名古屋の東隣に位置する恵まれた環境にある街です。東洋経済の調査による“住みよさランキング”では全国1位になったこともあり、現在も上位にランクされています。20年前の市制開始当時の人口5万5千人は、現在では8万6千人を数えます。人口に対する新生児出生率も最近まで全国1位でした。この少子化の時代に、昨年は県下でも珍しい小中併設校が新たに開設されました。市内に6つの大学のキャンパスがあり、まさに子育ての街、若者の街であります。

若い世代が多いと言っても、やはり高齢化対策は避けて通れない行政の重要課題であります。日進は本来、豊かな自然や風土、伝統、文化、食そして人々の付き合いなど、長寿を支える歴史的な「土壌」を備えています。先人によって守られてきたそうした「土壌」が今も息づき、「暮らしやすさ」を生み出す力となっています。

わが街の大切な観光資源として「愛知牧場」があります。休日ともなれば、名古屋をはじめ近郊から多くの家族連れが集まり、子どもたちの笑顔でにぎわいます。

その愛知牧場に隣接して、愛知国際病院がありますが、この20年の間にさらに、老人保健施設「愛泉館」、有料老人ホーム「シルバーホームまきは」、特別養護老人ホーム「のぞみ」が、多くのみなさまのご苦勞により相次いで開設されました。中でも、今年、開所17周年を迎える「まきは」は、一般経済誌による「全国有料老人ホームランキング」で第1位の評価を受けておられます。

まさに、私たちの“ふるさと日進”は、若者から高齢者まで安心して住むことができる、全国でもトップ

レベルの“暮らしやすい街”であると胸を張ることができます。

この地域には、キリスト教の教えに基づいて国際交流、地域への奉仕活動を展開するNGO・アジア保健研修所もあります。いずれもキリスト教精神を基盤として設立、運営されている医療、福祉の施設が集まるこの地域を、みなさまは誇りをもって、「みなみやま医療福祉ゾーン」と称されています。

私は、クリスチャンではありませんが、カトリック系の大学で学びましたので、人は神によって創造され、かけがえのない尊厳を持つ存在であると教えられました。「みなみやま医療福祉ゾーン」に立地する医療・福祉の各施設が連携し合い、地域で暮らす方々、お一人おひとりの尊厳を守り、豊かな暮らしを支えるモデルであり続けていただくことを大いに期待しております。

今回、「まきは」施設長の鈴木卓也さんが、日進市教育委員長に選任されました。温厚な性格に加えて、明るいキャラクター、そして有料老人ホームを日本一にした手腕を発揮して、“子育ての街”“若者の街”日進市における教育行政のリーダーとして、共に“ふるさと日進”の発展に向かって働いて下さることでしょう。みなみやま地域一帯が、日進市の医療・福祉・農業・観光・文化面での貢献に加え、人を育てる教育の「土壌」でも大切な役割を担っていただけることを切に期待しています。



▲日進市役所

# 「まきば」を取り巻く皆様の声

これまでは、クリスチャンの皆様の声を中心に紹介してきましたが、今回は、信仰の有無にこだわらず、様々な角度から「まきば」を支えてくださる地域の皆様に感想を伺いました。



## 「おもてなしのこころ」

尾張東部  
成年後見センター長  
住田 敦子



今年の流行語大賞に「おもてなし」が入りました。この言葉は「まきば」を初めて訪問した時に感じた気持ちです。ホスピタリティも表現できますが、「思いやりのこころ、心からのおもてなし」は「まきば」全体の雰囲気です。

「まきば」との出会いは、職員の方が尾張東部成年後見センターへ相談に来られたことから始まりました。認知症が進行している入居者の方が、被害妄想などにより生活に不安を抱えておられることを親身に心配されてのことです。(当センターは行政から委託を受けて、「成年後見制度＝認知症や障害により判断能力が不十分になられた方に、本人の権利を守るための援助者を選ぶことで法律的に支援する制度」のお手伝いをしています。)

その後、施設を何度か訪問させていただき、成年後見制度利用について「まきば」ご本人と相談をすすめるのですが、「まきば」では職員のことば、しぐさ、態度の全てにおいて入居者の方に対するホスピタリティがあり、入居者の方を尊重し真摯な姿勢で対応されています。その様な対応を眺めるのは、訪問者の私にとっても大変心地よいものでした。

「まきば」は、認知症になっても人として尊重され安心して暮らすことの出来る環境を、地域の社会資源を上手に活用しながら整えています。

人が人に優しさと喜びを伝え、育てていく介護の場所として誕生した「まきば」がその誕生の意義を、おもてなしのこころでこれからも全うすることを願っています。



尾張東部  
成年後見センター▶

## 「まきば」を訪問して

パキスタン  
エイズ啓発協会代表  
ヘクター・ニハール



今日、高齢化社会は世界的な動向で、私の母国パキスタンも例外ではありません。地域開発ワーカーとして、私は次のように考えています。開発が進むと生活様式、家族や地域の関係性、価値観が変化します。また、家庭の支出が増えます。そうすると稼ぎ手でなくなった高齢者は家庭内での居場所がなくなってしまうのではないかと。

ひと足早く超高齢社会を迎えた日本の方策を学ぶため、私たちアジア保健研修所※国際研修の参加者は、2013年9月に「まきば」を訪問しました。

まず目を引いたのは充実した設備です。至るところに高齢の方たちの身体に合わせた配慮がされています。質の高さはモノだけではありません。スタッフは入居者に寄り添い、一人ひとりに合わせたサービスやサポートを提供しています。年をとると身体的にも精神的にも弱くなりがちですが、ここで暮らす人たちは生き生きとしています。入居者のおひとは研修期間中、私たちの食事を作って下さいました。87歳という年齢を聞いて驚きましたが、ボランティア活動をすることでより充実した日々を過ごしておられるのだと思います。ただ、このような施設に入るお金がない人もいることでしょう。誰もが年をとってからも自分らしく、安心して暮らすことができるようなシステムを考えていかなければならないと思いました。

「まきば」の訪問は、いずれパキスタンにも訪れる高齢化社会について考える機会となりました。

※アジア保健研修所：まきばに隣接するNGO。

アジア各地の村々で人々の健康を支える現地の保健ワーカーや地域開発ワーカーを育成しています。

1980年の設立から現在までの卒業生は6,127名。

2013年の国際研修には筆者を含め、9カ国から12名が参加しました。

## 「アロハの精神」

フラダンス講師

プア・カラウヌ・フカヤサワコ

10数年前にご縁があって以来、シルバーホーム「まきば」の皆様と一緒にフラダンス（正しくはフラ）を楽しむというボランティア活動を続けてまいりました。



活動させていただいているうちに、フラが表現する「アロハの精神」が、「まきば」の理念にピッタリ合っているということを知りました。

この「アロハの精神」とは

Akahai	アカハイ	(思いやり、優しさ)
Lōkahi	ロウカヒ	(調和)
Óluólu	オルオル	(気持ち穏やか)
Haahā á	ハアハア	(謙虚に)
Ahonui	アオヌイ	(忍耐、辛抱強く)

この5つの言葉の頭文字を取って「アロハ!」と表現します。そしてこの5つの言葉の意味をすべて込め、ハワイの人達が大切にしているのが「アロハの精神」です。

ボランティア活動では技術面は二の次でよいので、ハワイアンらしい明るい音楽に乗せて心身ともにゆったりとした時間を過ごすことができたら、という思いで参加させていただいています。私も、皆様と楽しい時間を過ごし、嬉しく感じています。

10数年の年月は、加齢による身体の弱りやすことは避けて通れない事実で、私も人並み同様に体の切れも悪くなり、踊りのフリも忘れ?と思われることがたびたびです。が、参加してくださる皆様からパワーと神のご加護を戴き、この数年続けてこれましたことに感謝しています。



▲「まきば」でのフラダンス講習会

## 「まきば」と私

岩田税理士事務所 所長

岩田 明仁



私は、2006年から「まきば」の入居者の方々の確定申告をさせていただいています。その後、「まきば」の会計・税務にも関与させていただくようになりました。

私が接するのは鈴木施設長様、小中常務様と経理担当の方ですが、その方々に限らず、施設の皆さんが明るく接して下さいます。どんな職種でもその必要とされる性格なりがありますが、皆さん真面目で暖かな方ばかりです。私の説明や依頼を聞いていただき、改善をいただいています。

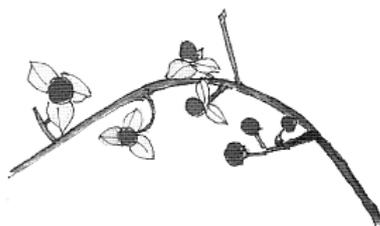
経理は、その性質上細かなところまで伺うこともありますが、様々な資料等の提出もきちんとなしていただけます。月次の会計資料は幹部の方が目を通され、チェック体制も充分機能しています。経理を担当された方は、「まきば」を退職後も後任の方のサポートにみえていたようです。「まきば」のアットホームなところがうかがえます。

私は月々の会計データのチェックに加え、中間決算と本決算について私が簡単な解説をし、鈴木施設長様方からのお話を伺いながら、「まきば」の現状と将来について打ち合わせをしています。皆さんは数字に明るく、常に「まきば」の教団の中での位置づけ、その将来像を考えてお話をされます。

会計という仕事は、お金の流れを通してその企業の動きを把握することが出来ます。しかし、「まきば」の施設の維持・継続・発展するために何が必要なのか、それは資金的なものはもちろんですが、それ以外にも大切なものはたくさんあります。

その中の一つである人としての大切なもの、必要なものがどのようなものなのかが、この「まきば」には感じられます。施設の中で感じられるもの、私は会計・税務という仕事を通じて大事なことを教えていただいています。

「まきば」にお世話になって感謝をしています。



# 「まきば」がある街、「日進市」を紹介します。

名古屋市の東隣に位置する日進市は、東洋経済※が毎年発表する「住みよさランキング」において、市制を引く全国812自治体の内、第1位になったこともあるほど、常に上位を占めている「住みよい都市」です。新生児出生率でも全国第1位になったことがあります。その上「平均寿命ランキング」では、愛知県全市町村の内、男性は1位、女性は2位というご長寿都市です。「まきば」にお住いの皆様は、まさに日本有数の住みよい都市で、長生きのできる環境にあって、日本有数の充実した施設で生活をしていると言っても過言ではありません。

「住みよさランキング」は、「安心度」「快適度」「利便度」「住居水準充実度」「財政健全度」「成長力」などを基準に点数化され、発表されています。毎年、人口が増え続け、赤ちゃんが生まれ、若者が多く活力にあふれた学園都市、そしてご長寿都市「日進」は、そんな恵まれた環境にある街です。

※(株)東洋経済新報社・明治28年「週刊東洋経済」創刊。書籍、雑誌、デジタルメディア、データベースなどの事業を展開。他に「会社四季報」など。

○人口推計 2020年に10万人

日進市の人口推移と推計



## 日進市のオシャレな地域を紹介します

### ◆整備された近代的な街「香久山」

ここ「香久山地区」は、都市計画によって新たに開発された街です。学校や商業施設、公園、福祉施設などが計画的に配置され、住みよい都市機能を備えた美しい街並みが続いています。



### ◆若者に人気の街「竹の山」

名古屋市に近い住宅地「竹の山」は、最近急速に発展した新しい街です。大学のキャンパスも点在し、若者に人気のオシャレな店が立ち並び、うきうきした街並みが続く最新のエリアです。

増え続ける児童・生徒に対応するため、昨年4月には、小・中併設校が開校しました。ますます発展が期待される地域です。





○平均寿命  
男性「県内1位」女性「県内2位」

愛知県市区町村別平均寿命

順位	男性	(歳)	順位	女性	(歳)
1	日進市	81.0	1	愛知郡東郷町	87.4
2	名古屋市緑区	80.7	2	日進市	87.3
同	みよし市	80.7	3	尾張旭市	87.2
同	愛知郡東郷町	80.7	4	名古屋市中区	86.9
5	豊明市	80.6	同	知多郡東浦町	86.9
∴	∴	∴	∴	∴	∴
	全国平均	79.6		全国平均	86.4
	愛知県平均	79.7		愛知県平均	86.2

(厚生労働省 平成22年市区町村別平均寿命より)



日進市の花 紫陽花



日進夢まつり



スポーツセンター



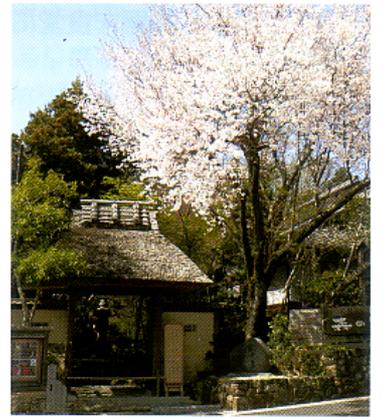
図書館



### ◆優美な住宅地「南山エピック」

「まきば」から僅か200mに位置する「南山エピック」は、小高い丘の斜面に優美な家々が立ち並び、ゆっくり散策するのに最適な、別荘地を思わせる閑静な住宅地です。

その中心にある「森の響」は、緑に囲まれた時間をゆっくり過ごすことができる喫茶店で、入居者の皆様からも好評です。また、毎週展示内容が変わるギャラリーも楽しむことができますし、毎月開催されるコンサートもすぐ目の前で演奏される臨場感が魅力です。



ギャラリーのある喫茶店「森の響」

### ◎日進駅前のマンション群

名古屋市と豊田市を結ぶ名鉄豊田線が日進市内を東西に横切り、市内には3つの駅があります。

日進駅前にはマンションが立ち並び、その周りには商業施設や戸建て住宅地が広がっています。



### ◎赤池駅周辺

名古屋市営地下鉄の終点「赤池駅」は日進市にあります。駅周辺は30年ほど前から大きく変貌しました。



### ◎米野木駅前の高層マンション

米野木駅に隣接して高層マンションが建ち、その南には分譲住宅地が広がります。南には愛知池が、東には企業研究団地があり、美しい景観が広がります。



# まきばトピックス

このページは、日本キリスト教団愛知老人コミュニティーセンターが運営する有料老人ホーム、シルバーホーム「まきば」でおこなわれた行事や出来事を紹介するコーナーです。



## 昨年も多彩なクリスマスの行事がありました



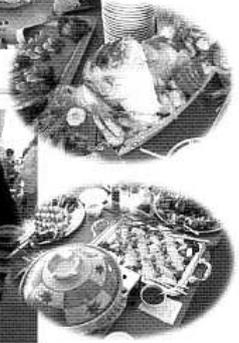
### 長崎哲夫総幹事を迎えてのクリスマス礼拝

12月10日、今年もご入居の皆様と運営委員に加え、近隣施設の代表や教区・地区の皆様を迎えて開催することができました。説教には教団本部から長崎総幹事がお越しくださり、厳粛な空気の中で主の降誕を祝うことができました。

礼拝の後は、会場を食堂に移して、恒例のクリスマスパーティーを催し、歓談の内に楽しいひとときを過ごすことができました。



長崎総幹事による説教



### 南山医療福祉ゾーン 職員クリスマス礼拝

愛知国際病院をはじめ、近隣施設職員の皆様50人が「まきば」を会場にして共に祈り、食事を共にして歓談の時を持ちました。



南山教会・大島純男  
牧師による説教



懇親会

### 名古屋学院 中学・高校生来訪クリスマス

名古屋中学校・高等学校の合唱部とオーケストラ部の皆様がお越し下さって、共に礼拝を守り、美しい歌声と弦楽器の演奏を聞かせてくださいました。



### キャロリングの来訪

南山教会と刈谷教会の聖歌隊が来訪して、入居者の皆様にクリスマスソングをプレゼントしてくださいました。



## まきば合唱団 クリスマスコンサート

シルバーホーム「まきば」職員の内、コーラスの好きな6人で構成する合唱団です。

12月19日に施設内でクリスマスソングのコンサートを開きました。

結成2年ですが、ご入居の皆様から暖かく迎えられています。



## お月見をしました

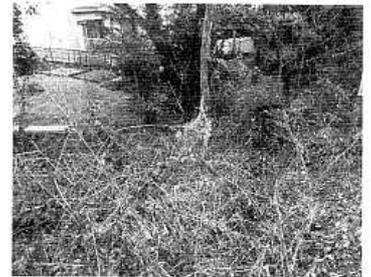
毎年、中秋の名月の日の夜は、皆様と一緒に屋上へ上がってお月見をします。

昨秋は、雲一つない夜空に見事な満月が浮かびました。



## 駐車場用地を購入しました

「まきば」の斜向かいにある600坪の土地を駐車場用地として購入しました。それ以前には、新館裏に隣接する谷地を南山教会から譲り受け、ゆったりとした遊歩道付の庭を確保する準備が整いました。この2カ所の土地取得により、将来構想の幅がグンと広くなりました。



新館裏の谷地

斜向かいの600坪

シルバーホーム「まきば」の

愛知県「日進市」の

## 施設長が、教育委員長になりました

2013年10月1日に開催された日進市教育委員会定例会において、委員6名の互選により、シルバーホーム「まきば」の鈴木卓也施設長が教育委員長に選出されました。教育委員に就任してからは、4年目になります。

ますます責任が重くなる上に、施設長業務との両立で、ハードなスケジュールをこなしています。



教育委員・学校長合同会議

この度、日進市教育委員会委員長の重責を担うことになりました。教育委員会制度が大きく変わろうとしている難しいこの時期に、責任者として立てられたことはまことに大きな試練ではありますが、「思いやりのある健全な子供を育てる教育」を目指して、また、市民の皆様が望む民主的な運営に向けて力を注いでまいります。

そして、これからもシルバーホーム「まきば」が目指してきた「人格の尊厳」を基本姿勢に、地域に愛され、地域に貢献する施設として歩んでいきたいと願っています。小さい者のためにお祈りくださいますよう、お願い申し上げます。（鈴木）



# まきばトピックス

## 新美南吉記念館を訪れました

10月22日、恒例の「秋の行楽」は、半田市にある「新美南吉記念館」を訪れました。参加者は7人と職員3人でしたが、「ごんぎつね」で知られる南吉の生涯とその作風を学び、楽しい食事の時を持ちました。

近くの土手にある有名な彼岸花の季節が終わってしまっていたのが、ちよびり残念でした。



▲記念館前にて



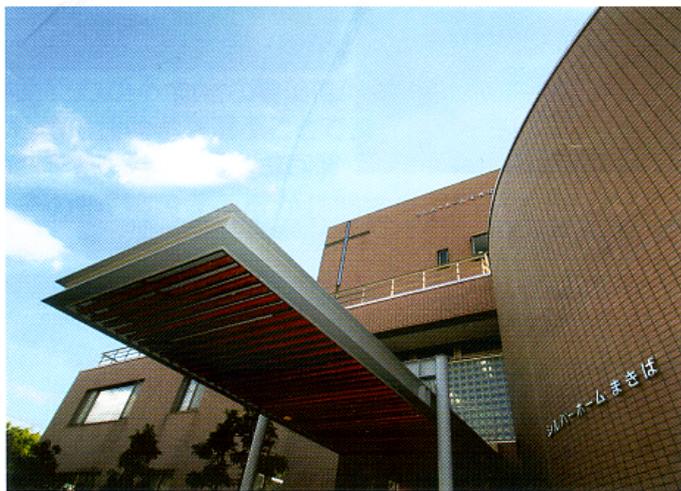
▲ごんぎつねの里散策



▲昼食のひととき



## 入居予約受付中



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター

## まきば

シルバーホーム「まきば」は日本キリスト教団の責任の下、中部教区諸教会・伝道所の篤い祈りによって運営されている有料老人ホームです。

施設内では毎週「礼拝・聖餐式」「聖書の集い」「賛美の集い」「聖書写教の会」などのキリスト教プログラムが開かれています。

「老後の信仰生活をご一緒に守りたい」とお考えの方には是非お勧めしたい施設です。

●入居要件や料金など詳細をお知りになりたい方は、電話**0561-74-5548**番までお問い合わせください。また、団体での研修会や見学会も受付けています。お気軽にご相談ください。

## 編集後記

「まきば」の位置する愛知牧場を、ほぼ毎週、名古屋から往復する生活も20年以上になります。

地下鉄と連係する名鉄豊田線で、名古屋の中心からおよそ30分。途中、赤池駅を過ぎると地上に出る列車から見える車窓の景色は、かつては見渡す限りの畑や自然林ばかりでした。良く見ると、田んぼのあぜ道の脇には「マムシ注意」の看板も。

それが今や、文字通り「日進」月歩の勢いで宅地造成が進み、途切れることのない新しい家並み、駅前には高層マンションが立ち並びます。市長さんの言葉「子育て、若者の街、日進」を実感します。

都会の利便性と自然の豊かさを兼ね備える「暮らしやすい街」、遠方の方々もぜひ一度お訪ねください。

(岩本)

